

稲森・五味！初代チャンプ！

インカレスプリント 2015年10月3日 長野県富士見町

今年から始まったインカレスプリント競技。初代チャンピオン男子は1年生、女子は学生幹事長。

2015年10月3日(土) 長野県富士見町
日本学生オリエンテーリング選手権大会
スプリント競技

女子選手権結果

1	五味あずさ	0:12:12	金沢大学 4
2	守屋舞香	0:13:28	椋山女学園 4
3	山岸夏希	0:14:43	筑波大学 1
4	松田沙也加	0:15:27	岩手大学 4
5	帯金未歩	0:15:46	大阪大学 3
6	香取菜穂	0:16:11	千葉大学 1

男子選手権結果

1	稲森剛	0:12:36	横浜国立大 1
2	宮西優太郎	0:13:04	東北大学 4
3	小林隆嗣	0:13:13	東北大学 2
4	宮本樹	0:13:20	東京大学 1
5	築地孝和	0:13:46	神戸大学 3
6	角田貴大	0:13:46	横浜市立大 2



稲森剛、インカレスプリントの初代王者に



優勝：五味あずさ（金沢大学4年）

男子1年生で初めての金

稲森剛（横浜国立大学1年）がインカレスプリント優勝に輝いた。男子1年生が金メダルを取るの、インカレ史上初めてである。稲森は東海高校時代から活躍し、日本のジュニア選手として活躍してきた。それが大学生になり初めてのインカレの大舞台で、しかも第一回のインカレスプリントで初代チャンピオンに輝いた。

「中学校3年のときにインカレリレーを観て、凄い舞台だと感じた。ここを目標に努力した。」

2位の宮西優太郎（東北大学4）は、稲森にとって東海中学・高校時代の先輩にあたる。東海OB勢でワンツーを決めた。

初めての女性幹事長・初金

五味あずさ（金沢大学4）が初代インカレスプリントの女子チャンピオンとなった。

ただ競技が速いだけではない。五味は日本学連の新しい扉を開けた存在である。彼女は日本学連の現幹事長、つまり日本学生組織のトップ。日本学連で初めての女性幹事長である。それだけではない。北信越地区から輩出した最初の日本学連幹事長でもあるのだ。

「学生の私たちがインカレスプリントを続けてゆくという強い気持ちを持ってゆきたい。」

インカレスプリント始まる

インカレでも今回からスプリント競技が始まった。これでインカレはスプリント、ミドル、ロングの個人3種目と、リレーの団体戦1種目の合計4種目で競われることになる。やっと世界標準の競技形態を整えるに至った。

インカレスプリント開催に至る議論は簡単ではなかった。開催に至るまでに数年間の議論と試行があった。

世界のオリエンテーリングシーンがスプリント種目をフォーカスしてゆく機会が多い中、インカレでスプリントが実施されるのは流れで言えば当然だろう。しかし理念形成や採算など越えなければならないハードルは高い。

インカレスプリントの基本コンセプトは「見せるレース」である。スプリント特有の競技特性もあるが、「見せる」ことを最も重要なコンセプトに位置づけこれからも行われることになる。

しかし、ロング種目とスプリント種目を2日の日程でこなさなければならないことから、テレイン制約、運営制約が以前より増したことは確実だろう。

（木村佳司）